



— C O L A S 平 戸 —

「平戸市未来創造館」

8.1 GRAND OPEN

動き出した平戸市のコミュニケーションの場

あらゆる人々が「つどい」、「まなぶ」機会に接し、出会いと交流で「つながり」ことができれば、市民一人一人だけではなく、平戸市の未来をも大きく「ひらく」ことができます。そんな大きな希望を持って命名された「平戸市未来創造館」。

図書館で本を読みリラックスした時間を過ごす、また、公民館で仲間と楽しい時間を過ごす、そんなずっと居たくなるような居心地よい空間がここには広がっています！

①	②	③
④	⑤	⑥

- ①夜の外観
- ②図書館の全景
- ③司書の末吉さん、柴山さん
- ④司書の福貞さん、山崎さん
- ⑤外観(全景)
- ⑥大きな木のへや

門屋多佐雄さん

(建設基本計画策定委員)

「海に見える新しい建物で、いろいろな公民館活動をしませんか」

PROFILE

昭和23年2月5日度島町生まれ
猶興館高等学校を卒業後、西彼杵の郵便局に就職し、昭和59年に平戸に帰郷。その後は、尺八の師範として尺八のみならず、伝統音楽の普及に尽力している。「日本の伝統音楽を守る会」、「新都山流竹友会」代表。 大久保町在住 67歳

丹澤 明さん

(建設基本計画策定委員 副委員長)

「まずは一度足を運んで、自分の目で見て、この施設の素晴らしさを実感してほしいですね」

PROFILE

昭和30年5月15日紐差町生まれ
猶興館高等学校を卒業後、立命館大学に進学。大阪での就職を経て平戸に帰郷。その後は実姉が経営していた英語塾を引き継ぎ、36年間もの長きにわたって、平戸の子どもに英語を教えている。「丹澤英語塾」代表。 岩の上町在住 60歳

Tasao Kadoya

対談

で発信するのはどうでしょうか。そうすれば市外の人も訪れるはずで、観光客の増加にも期待できますね。

丹澤さん・・・いいアイデアですね。市外の人にもぜひ利用してもらいたいです。それから、景色がよいのはもちろんですが、何より近い場所に建っているのがいいですね。私は図書館建設委員で九州の先進地の図書館をいくつも視察しましたが、こんなに中心地や学校に近い図書館は他にありませんでした。

門屋さん・・・小学校の遠足で弁当を持ってきて1日過ごしてもらうのもいいですよ。

丹澤さん・・・それと策定委員のみんなが目指したのは、家にこもっている人や目的がない人でも、ふらっと気軽に入れる場所を作ることでした。図書館は、すべての人が誰に気兼ねすることなく自由に利用できる唯一の場所だと思っています。新しくできた図書館は、本を読むだけでなく、目的がなくても気軽に

出かけられるところです。1日中誰からも干渉されずに居られる空間、平戸市のオアシス的な存在になつてもらいたいですね。

門屋さん・・・確かにここは時間がゆったりと流れていて、都会にはない空間があるので1日中ボーっとゆつくりできますね。今度孫が平戸に来るので、まず初めにここに連れてこようと思っています。

丹澤さん・・・図書館は、私たちが予期しない宝が埋もれている場所です。ぜひ一度足を運んで自分の目で見てもらいたいですね。そうすればこの素晴らしさが分かると思います。私の願いは市民の皆さんに「我が家の書斎は平戸市未来創造館にある」と言ってもらえることです。

門屋さん・・・この海に見える新しい施設を利用して、これまで以上に公民館活動をしてほしいです。そして新しい活動を通して、今まで気づかなかった新たな自分を発見してもらえたら最高ですね。

Akira Tanzawa

対談

我が家の書斎は平戸市未来創造館にある
と言ってもらえたら最高ですね！

計画時から建設基本計画策定委員として「平戸市未来創造館」の建設に尽力された門屋さん、丹澤さんに話を伺ってきました。

門屋さん・・・平戸に帰郷後、以前から要請があつていた尺八の指導をするようになったのが、北部公民館を利用することになったきっかけです。前の公民館は、場所は良かったのですが、楽器を吹くので隣で会議などがある時は気の毒でした。

丹澤さん・・・私は、11年前に絵手紙で北部公民館に場所を借りたのがきっかけですね。会員の皆さんは60歳代、80歳代が中心なので、階段を上がつてきてもらうのが非常に申し訳なかつたです。中にはデイサービスを受けている会員さんもうらっしゃるんです。

門屋さん・・・エレベーターが

ないと高齢者は非常に困りますもんね。今回の「平戸市未来創造館」にはエレベーターが付いているのが個人的には一番良かったと思っています。

丹澤さん・・・以前は入口も狭く暗いイメージだったので、入りにくさを感じていました。また、公民館と図書館が別々に機能していた印象がありましたね。新しい建物は明るい印象で入りやすく、公民館と図書館がうまくリンクできそうな印象を受けました。

門屋さん・・・この建物は平戸瀬戸を一望できる場所に建っていて、眺めも最高です。こんなロケーションがいい図書館や公民館は全国を探してもあまりないと思います。全国に誇れる施設が完成したと自信を持って言えますね。ぜひ友達にも紹介したいです。それと、この施設の動画をYouTubeやフェイスブックなど

愛称は「COLAS (コラス) 平戸」

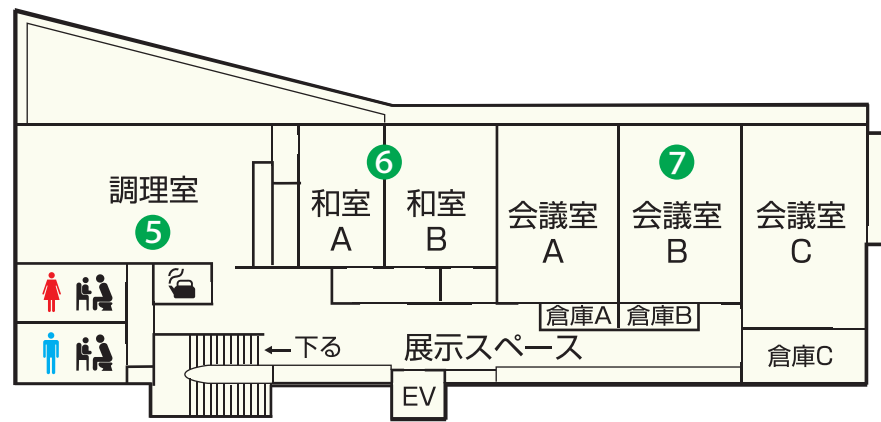
みんなが気楽に「こらす」そんな場所を目指して！

「市民がほっとできる居場所でありたい」、「子どもの健全な成長を見守りたい」、「学びと学ぶ空間を提供したい」、「課題を発見し、解決に向けてつながりを作る支援をしたい」、そんな4つの願いをこめて建設された「平戸市未来創造館」。

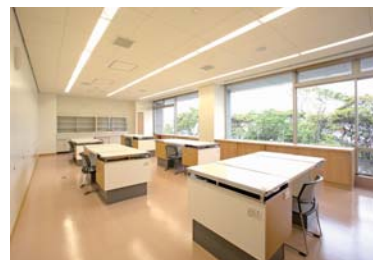
愛称の「COLAS」のように気軽に足を運び、市民の皆さんに親しみを持って利用されるような場所を目指していきます！

※COLAS・・・Citizens' Oasis with the Lively, Affectionate Spaceの略
「活気に満ちた愛情ある空間を持つ市民のオアシス」という意味がある。

2階



⑤調理室



子どもにも使いやすい高さの変わる調理台です。普段は机に変身して会議室として利用します。

⑥和室



襖で仕切られた2部屋で、Aは調理室と行き来でき、Bにはお茶席用の炉があります。

⑦会議室



カーペット床。AとBは区切っても、大きくひとつにも使えます。Cは音漏れしにくい構造です。

地方創生の原点となりうる場所がここに！

「平戸市未来創造館」は図書館と公民館が一緒になった「つどろ」、「まなび」、「つなぐ」そして市民の皆さん一人一人が未来を切り開いていく、そういう意味をこめて建設されました。

地方創生が重要な課題となっている現在、平戸に住みたい、平戸に住んで良かった、そういう町を創っていく必要があります。そのためにはまず、市民の皆さんの内面の充実、活動の活性化が必要ではないでしょうか。図書館に行つて本を読む、また、何もしないでボーっと物思いにふける時間を作るのもいいでしょう。心にゆとりをもつことは非常に大切です。また、公民館活動を通して、いろいろな人とコミュニケーションを図りながらネットワークを広げていく、これも大切なことです。「平戸市未来創造館」は地方創生の原点となりうる人づくりを手助けする場でもあるのです。

図書館は、平戸瀬戸を望む絶景のロケーションの中、約10万点の図書、新聞、雑誌、視聴覚資料がそろい、ゆったりとした時間を過ごすことができます。また、自動貸出機の利用により、夜8時まで開館時間を延長しました。公民館は、ホールを使用実態に合

「平戸市未来創造館」お問い合わせ

平戸市立北部公民館

Tel 22-2418 Fax 22-3151

Eメール hokubuko@city.hirado.lg.jp

平戸市立平戸図書館

Tel 22-4017 Fax 22-3151

Eメール hiradotosho@city.hirado.lg.jp

平戸市少年センター

Tel 22-4111 Fax 22-3151

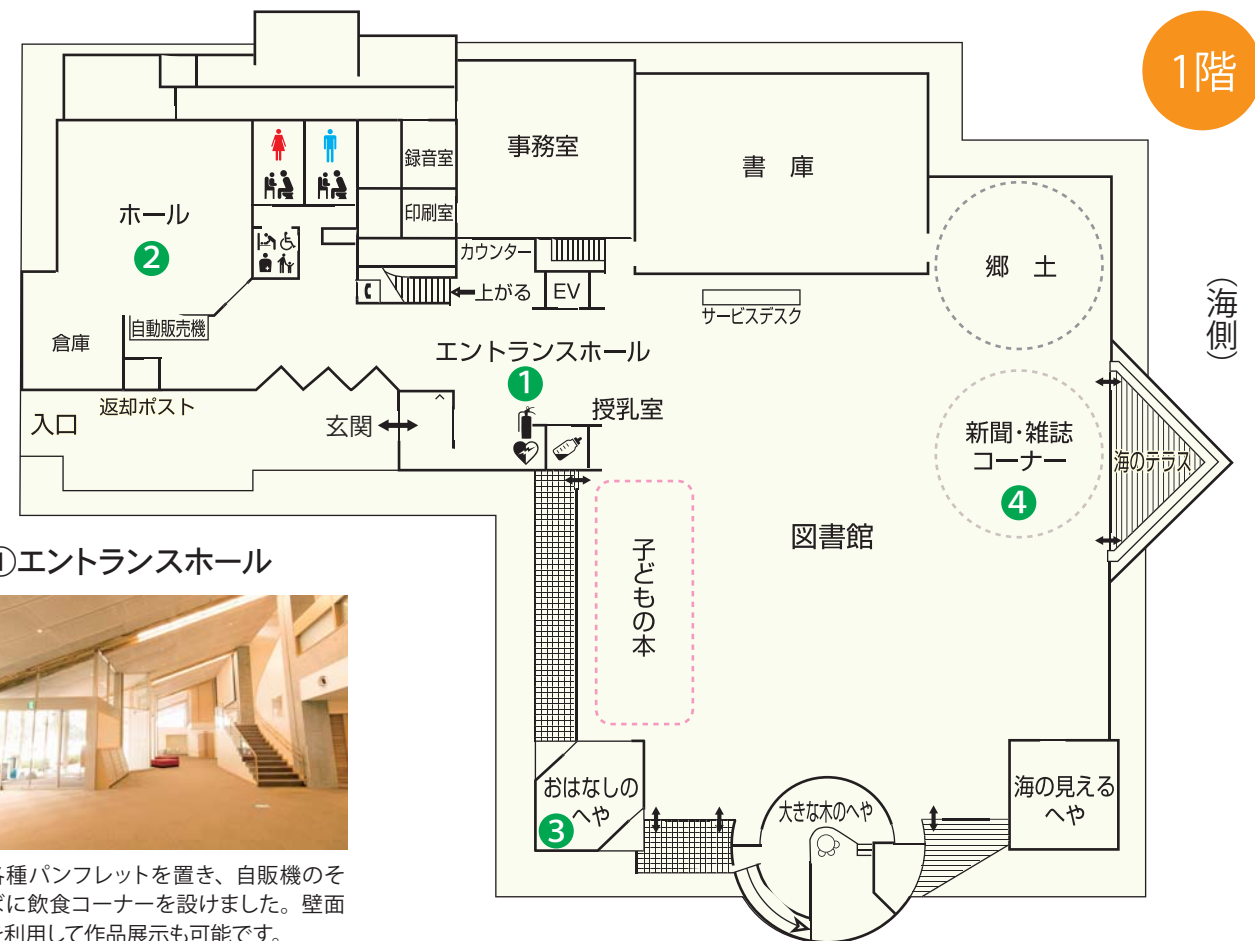
Eメール shonen@city.hirado.lg.jp

わけてコンパクトにし、プロジェクターの常備や、壁面に大きな鏡を配置しています。また、調理室や和室、会議室があり、いろんな用途に対応できるようにしています。

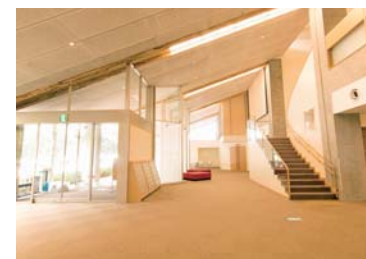
館内は、エレベーター、多目的トイレ、授乳室、録音室など、誰でも使いやすいように設備したほか、インターネット時代にふさわしく全館にWi-Fi環境を整えました。

市民の皆さんそれぞれが活躍し、未来を切り開いていく、そういう場所がここにはあります。「平戸市未来創造館」に皆さん気軽に「こらっさん」ね！

1階

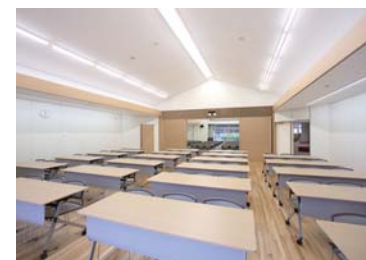


①エントランスホール



各種パンフレットを置き、自販機のそばに飲食コーナーを設けました。壁面を利用して作品展示も可能です。

②ホール



プロジェクターを標準装備。フローリングの床と壁面の大きな鏡でダンスレスンもばっちりです。

③おはなしのへや（児童書コーナー）



絵本の読み聞かせなど、定期的に「おはなし会」をします。空いてる時間は自由にお使いください。

④新聞・雑誌コーナー



新聞や雑誌を読みながら、変わりゆく平戸瀬戸の景色をゆっくりとお楽しみください。